



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 治克

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 橋本 彰 TEL 0776-53-9200

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,210	13.0	2,806	24.1	2,838	24.1	1,834	26.1
29年3月期第3四半期	7,267	13.7	2,261	46.4	2,287	45.4	1,454	37.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,927百万円 (52.9%) 29年3月期第3四半期 1,260百万円 (1.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	79.83	ー
29年3月期第3四半期	63.30	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,647	13,552	76.8
29年3月期	16,946	12,245	72.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,552百万円 29年3月期 12,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	27.00	27.00
30年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
30年3月期（予想）	ー	ー	ー	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	1.3	3,150	1.1	3,180	0.8	2,100	4.5	91.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	23,000,000株	29年3月期	23,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	24,333株	29年3月期	24,273株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	22,975,704株	29年3月期3Q	22,975,743株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)における当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高8,210百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益2,806百万円(前年同期比24.1%増)、経常利益2,838百万円(前年同期比24.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,834百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築CAD事業

当第3四半期連結累計期間の住宅市場は、新築住宅着工件数が伸び悩み5ヶ月連続の減少となり、戸建住宅業界においては厳しい結果となりました。このような市況ではありますが、経済産業省が実施したIT導入補助金制度による販売効果が引き続き見られ、当社グループの建築CAD事業は前年同期を上回る売上実績となりました。また、建築CADソフトの主力商品である「ARCHITREND ZERO Ver4」は、2020年省エネ基準義務化に伴うビルダーの省エネ住宅対応に伴い、省エネ・耐震関連商品に多くのユーザーニーズが集中しました。これにより新規販売・既存販売も堅調な足取りで増加しました。建築関連事業においても、建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサイト「3Dカタログ.com」のユーザー登録数が好調に推移し、今後の建築CAD事業の売上につながる顧客接点が拡大しております。

また、10月は衆議院選挙が行われ、報道機関向け出口調査システムの売上を計上しました。この結果、建築CAD事業の売上高は4,226百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益は1,154百万円(前年同期比46.4%増)となりました。

②測量土木CAD事業

当第3四半期連結累計期間の全公共機関からの工事発注金額は前年を上回って推移しており、国土交通省が推し進めるi-Construction関連では今年度の国の発注機関からのICT工事やi-Construction発注数は1,400件を超えています。自治体においてもICT活用モデル工事が発注されており、当社グループは工事受注事業者への支援を行うことで、自治体での普及促進を行ってまいりました。測量分野においても、発注金額は前年を上回って推移している状況です。このような市況の中で、新商品の投入を行うとともに、社員の知識の向上に努め、業界の発展に向けた啓蒙と販売活動を継続して行いました。測量分野では測量CADシステム「TREND-ONE」へのシステムチェンジが進むとともに、第3四半期より現場端末システム「TREND-FIELD」の使用権商材の販売が伸びています。また、土木分野では3次元データ活用ニーズは引き続き増加傾向にあり、点群処理システム「TREND-POINT」、CIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE」の導入が順調に推移しております。

この結果、測量土木CAD事業の売上高は3,984百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は1,680百万円(前年同期比20.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、17,647百万円となり、前連結会計年度末より701百万円増加しました。主な要因は、現金預金及び投資有価証券の増加、売上債権の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,740	10,632
受取手形及び売掛金	1,704	1,408
商品及び製品	26	11
仕掛品	29	10
原材料及び貯蔵品	7	8
繰延税金資産	389	239
その他	355	525
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	12,246	12,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,390	1,356
土地	1,085	1,085
その他(純額)	81	83
有形固定資産合計	2,558	2,526
無形固定資産	49	65
投資その他の資産		
投資有価証券	1,695	1,828
繰延税金資産	34	33
その他	375	373
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	2,091	2,224
固定資産合計	4,699	4,815
資産合計	16,946	17,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44	28
未払法人税等	881	257
前受金	1,833	2,140
賞与引当金	372	197
役員賞与引当金	75	51
その他	1,198	1,086
流動負債合計	4,405	3,761
固定負債		
繰延税金負債	291	333
長期未払金	3	—
固定負債合計	295	333
負債合計	4,700	4,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	7,790	9,004
自己株式	△5	△5
株主資本合計	11,512	12,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732	826
その他の包括利益累計額合計	732	826
純資産合計	12,245	13,552
負債純資産合計	16,946	17,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,267	8,210
売上原価	1,411	1,715
売上総利益	5,856	6,495
販売費及び一般管理費	3,594	3,688
営業利益	2,261	2,806
営業外収益		
受取配当金	17	20
受取手数料	6	6
その他	1	5
営業外収益合計	26	31
経常利益	2,287	2,838
特別損失		
固定資産売却損	8	—
特別損失合計	8	—
税金等調整前四半期純利益	2,279	2,838
法人税、住民税及び事業税	740	853
法人税等調整額	84	150
法人税等合計	825	1,004
四半期純利益	1,454	1,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,454	1,834

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,454	1,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193	93
その他の包括利益合計	△193	93
四半期包括利益	1,260	1,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,260	1,927
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,727	3,539	7,267	—	7,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,727	3,539	7,267	—	7,267
セグメント利益	788	1,397	2,185	75	2,261

(注) 1. セグメント利益の調整額75百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,226	3,984	8,210	—	8,210
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,226	3,984	8,210	—	8,210
セグメント利益	1,154	1,680	2,834	△28	2,806

(注) 1. セグメント利益の調整額△28百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。